

# 法海

Hou-Kai

ここに響くことば 01

出遇いに感謝 列れに感謝。  
感謝とは、するのではなく  
自然にあふれてくるものである。

感

謝“ということばは、辞書に「ありがたいという気持ちを表すこと」とあります。校訓にも“感恩”ということばがあり、「自分を支えている、はかり知れないはたらきに感謝の念を抱き、その恩に報いたいと願いながら生きること」と述べられています。一般的によく「感謝する」という使い方をしますが、自身を振り返り、一つひとつのことが自分のために働いてくれていたことに気づく中で、「する」ではなく、自然に心の中から溢れてくる「あり

がとう」の気持ちこそが、本当の感謝“ではないでしょうか。

私たちは、家族や友人や先生方など、さらに直接的ではなくても多くのものと関わりをもって支えられながら生きています。そして、様々な出遇いや別れの経験を通して成長をしていきます。一生のうちで、今“という時間は二度と経験することはできません。すべてのことが皆さんにとつて貴重なことなのです。感謝について、いま一度考えてみませんか。



※「法海」とは、仏法の広大なことを海にたとえている言葉です。